

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道芦別市 芦別病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 民間企業出身 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	D透訓	救輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
11,976	12,574	第2種該当	-	10 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審判病院

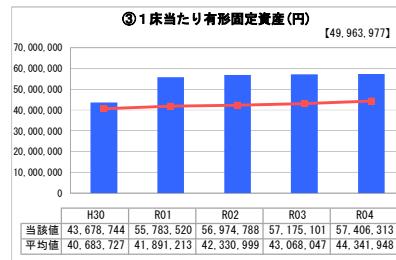
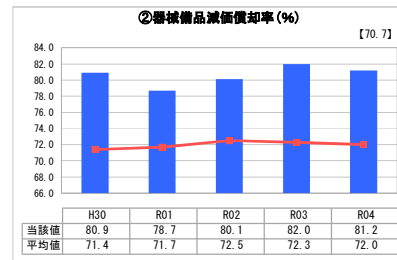
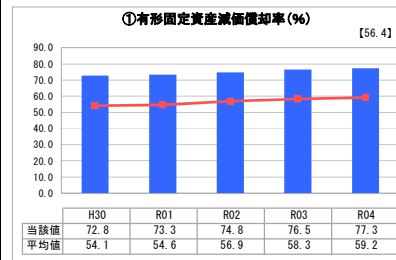
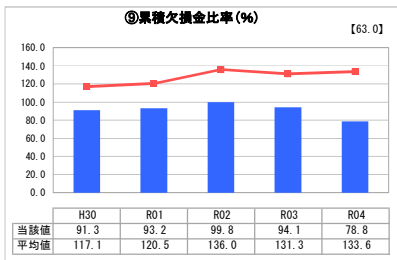
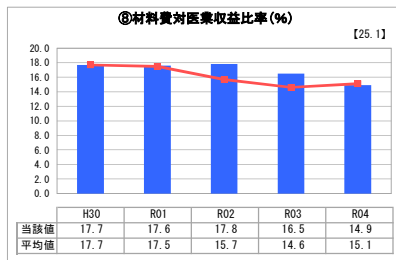
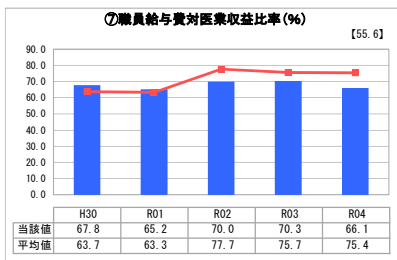
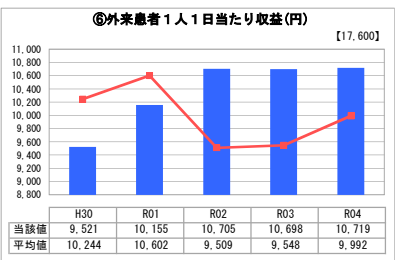
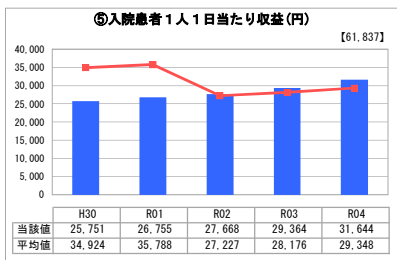
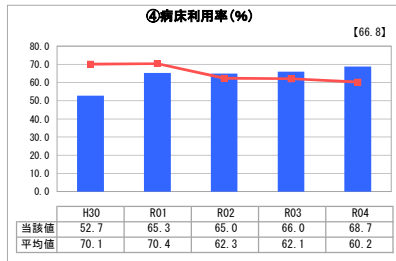
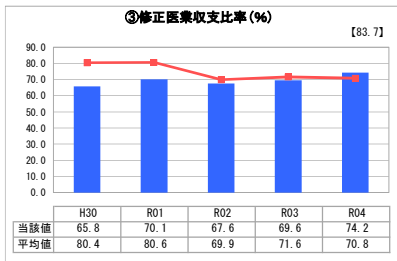
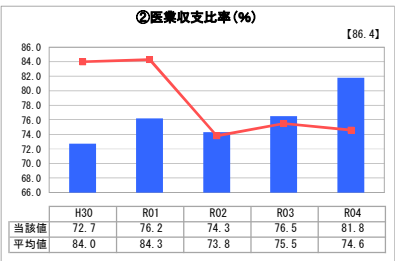
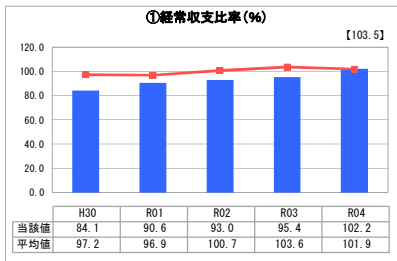
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	39	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
55	26	81

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
□	令和4年度全国平均

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

組織分化・連携強化 (従来の関係・ネットワークを基に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況

### I 地域において担っている役割

当院は、市内唯一の救急告示病院及び一般病床を有している公立病院であり、医療過疎地域における基幹病院として市民生活に欠かすことのできない必要医療を確保し提供するとともに、市内における医療体制を維持するために、現在の医療資源を最大限活用しながら必要な入院・外来・救急医療の確保に努めている。また、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床（2床）を確保しているほか、発熱者等診療・検査医療機関として指定を受けているなど新型コロナウイルス感染症の協力医療機関としての役割も担っている。

### II 分析編

#### 1. 経営の健全性・効率性について

医師引き揚げによる常勤医師不足及び新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、入院及び外来とも収益が増加したことにより、累積欠損金比率は前年の94.1%から78.8%と大きく減少した。また、引き続き総務省による経営アドバイザーから受けた助言に基づき增收策を行い、入院患者及び外来患者1人1日当たりの収益は増加するなど一定の改善は図られた。今後も、医師、看護師等の医療職員の確保に努めるとともに、収益の確保及び費用の削減に努め、経営の健全化及び安定化を図る。

#### 2. 老朽化の状況について

院舎は建設から35年以上経過していることによる老朽化が進み、耐用年数に近づいていること、及び医療機器等も使用可能なものは耐用年数を過ぎても更新していないことから①有形固定資産減価償却率、②器械備品償却減価償却率が類似病院の平均値よりも上回っている。また、病床数が院舎建設時と比べ、現状半分以上となっていること、③1床当たり有形固定資産減価償却率が類似病院の平均値よりも上回っている。今後、院舎については建て替えの予定はなく、医療機器等については、計画的な維持修繕、医療機器等の更新を図っていかなければならない。

#### 全体総括

経営状況については、前年と比較して改善は図られているものの依然として厳しい状況であり、多くの比率において類似病院の平均値を下回っているが、令和3年度から新たに直いた事業管理者のものと、その特性を生かした更なる病院運営及び経営改善に向けた取組を進める。今後とも引き続き、費用削減を図るため、医療材料の共同購入による材料費の削減、経費の節減など経営の健全化に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。